

ニューヨーク補習授業校

補習校だより

平成20年 11月号
11/15/08発行
56 Harrison Street #204
New Rochelle NY 10801
914 (636) 3770

校長室の窓から

校長 中村 衛

「イエス ウィー・キャン (われわれはきっとできる)」次期大統領オバマ氏のメッセージです。シカゴでの歴史的な勝利宣言に、元気と希望と勇気をもらいました。そしてそれを支持する人達のどの顔にも喜びが溢れ、これからの新しい時代を感じました。

私達はどんなことも諦めず「きっとできる」このメッセージは、補習校に通う子どもたちにも伝えたいものです。

また、「米国の真の強さは、軍事力や経済的豊かさではない。その理想の持つ力なのだ」の言葉に、教育の大切さを痛感いたしました。人権感覚を大切に、対話を重んじることは、思考力や表現力、コミュニケーション力を重視していこうとする我が国の「生きる力」に通じるものだと感じました。そしてその力が平和に繋がるものだと思います。

その平和に繋がる「生きる力」を子どもたちに伝えていくために、文字として表されたのが、新学習指導要領です。前回の「補習校だより」で少し紹介しましたが、今回も、もう少し詳しくご紹介したいと思います。

「なぜ 教科書にない学習をするの?」「なぜ、教科書にあるけど、やらないの?」

文部科学省では3月28日、新しい幼稚園教育要領、小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領等を公示しました。また、6月13日、小・中学校学習指導要領の改

訂に伴う平成21年度(2009年度)からの「移行措置」についての省令及び告示を公示しました。

では、「学習指導要領」と「移行措置」とは何なのでしょう?

「学習指導要領」とは

一言でいえば、「どんな内容をどの学年で」「何時間学習するのか」などを示したものです。各学校での時間割は、これを基準に組まれます。

おおよそ10年に一度の改正があります。今回の改正では約30年ぶりに授業時間数の増加がありました。また小学校への外国語活動が導入されたり、学年の学習目標や内容が変更されたり、履修学年の移行などがみられます。小学校の国語の場合、算数や理科とならんで授業時数が増加されました。第1・2学年では毎週9時間、第3・4学年では毎週7時間となります。

さすがにどこの本屋さんにでも置いてあるものではありませんが、大型店の書店の教育書コーナーで「学習指導要領解説編」という名の書籍を購入することができます。

価格はなんと一冊100円台という安さです。

「学習指導要領」が変われば、教科書もそれにそった新しい内容にかわります。また「子どもたちが何を学習してきたか」は「学習指導要領」によって決まるので、入学試験で問われる内容も変わります。

移行措置 (小学校の場合)

- 平成23年度から新指導要領を全面实施。平成20年度(2008年度)は周知徹底の期間、平成21、22年度(2009・2010年度)が移行期間となります。
- 算数および理科については、移行措置期間中から、新課程の内容の一部を前倒しして実施します。(授業時間の増加も前倒し実施)
- その他の各教科は学校の判断により、新学習指導要領によることも可能です。

実際に新しい指導要領のもとでの教育課程の実施は、小学校は平成23年（2011年）から、中学校は平成24年（2012年）からとなりますが、今まで習っていた学年が変わることがあります。国語は物語などの内容ががらっと変わりますので、新指導要領が変わってから指導でき、極端な言い方をすれば、問題となるのは漢字とローマ字のみとなります。しかし、算数はより系統的ですのでその変化に要注意です。（例）現行の学習指導要領による場合は「ローマ字」の指導を平成22年度からは3年生で実施する。（現行指導要領で4年の内容であるローマ字が、新課程では3年に移行するため、平成22年度には3年生で指導しておく必要がある。）

このように移行期間に新しい学習指導要領に変わっても「習っていなかった」ということが起きないようにすることを「移行措置」といいます。「なぜ、教科書にない学習をやるの?」「なぜ、教科書にあるけど、やらないの?」の答えはこれ（移行措置）です。来年から始まります。

第29回 海外子女文芸作品コンクール 受賞作品発表！

第29回海外子女文芸作品コンクールの受賞者が発表されました。このコンクールは、海外に在住する小・中学生が言語・風習・気候風土・治安など、日本と異なる生活環境の中で感じ、考え、感動したことを日本語で表現することを促すために1979年以来毎年行われています。海外各地から寄せられた2万点を越える作品の中から、今年もニューヨーク補習授業校の皆さんの作品がたくさん受賞しました。受賞された皆さんに心からお祝い申し上げます。今年度は、5回目の学校賞も受賞しました。後日、副賞として図書が贈られてきます。



以下に受賞された皆さんを紹介します。

（※出品時在籍児童）

【作文の部】

＜文部科学大臣奨励賞＞

WT校初4 前田 花帆

＜日販アイ・ピー・エス賞＞

WT校初2 渡邊 龍之介

＜優秀賞＞WT校初4 山本 哲也

＜佳 作＞WT校初2 池田 美菜

WT校初5 杉原 有紀

【短歌の部】

＜学習研究社賞＞WT校初5 杉原 有紀

＜パナソニック賞＞

WT校初6 三井 誠子

＜優秀賞＞WT校初6 三橋 理菜

＜佳 作＞WT校初6 長田 将

【俳句の部】

＜優秀賞＞WT校初5 小泉 理央

＜佳 作＞L I校初4 古庄 ミツバ

WT校初5 塩月 優花

A校中3 木原 萌

後期の漢字検定が行われます

2009年2月7日に後期の日本漢字能力検定が行われます。この漢字検定では小学校1年生修了程度（80字）の10級から高校卒業程度（1945字）2級の受検が可能です。補習授業校在籍の児童生徒はもちろん保護者の皆様も受検できますので奮ってご参加下さい。12月に受検申し込み用紙をお配りします。

今後の予定

授業日 (回)	L I 校	WT校	A校
11/22 (30)	1年生見学会 午後の補習⑦	※初等部研修会	※職員会議
11/29 (31)	臨 時 休 校		
12/6 (32)	進級等申込書配付 社会科授業⑤ 午後の補習⑧	※地区主任会④ 社会科授業⑤	
12/13 (33)	硬筆コンクール案内 6時間授業④ 中高スピーチ大会	※〈連合運営協議会〉 6時間授業⑥	
12/20 (34)	午後の補習⑨	幼児部もちつき	(冬祭り)

（※は先生方の打ち合わせ。）「社会科授業」は 4・5・6年の希望者対象です。